

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項にて行う。
 2. 申し込み競技者以外の出場は認めない。
 3. 裸足での競技は禁止する。
 4. 50m、60m、80mH、100mは、タイムレース予選とし、記録の良い上位8名で決勝を行う。
なお、同記録者が9名以上の時、対象者を抽選で8名にする。
 5. フィールド種目は3回の試技とする。
 6. 招集について
 - ① 招集所は、100mスタート付近の北側ゲート前に設ける。
 - ② 競技順序に示された招集完了時刻の10分前に点呼を始めるので、出場競技者はその前までに着席していること。
 - ③ 招集所で点呼を受けなかった競技者、招集完了時刻に遅れた競技者はその競技に出場できない。
 - ④ 2種目を兼ねて出場している競技者は代理人による点呼を認める。
 - ⑤ 競技を棄権する場合、本人もしくはチーム代表は招集開始時刻前までに競技者係へ申し出る。
 - ⑥ 招集所から各競技のスタート地点・競技場所への移動は、係員の誘導に従うこと。
 7. アスリートビブス（ナンバーカード）について
 - ① 当日、受付で渡された本大会用のアスリートビブスを胸と背に付けて競技すること。
ただし、走幅跳に出場する競技者は胸か背のいずれか一方だけでも良い。
 - ② トラック競技では、腰ナンバー標識を、腰やや後方に付けて競技すること。
なお、短距離は各校で用意し、長距離は招集所で渡されたものを付ける。
 8. 競技用具は、競技場備え付けの用具を使用すること。ソフトボール投のボールは1号球とする。
 9. トラック競技における組・走路順、およびフィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。
 10. スパイクの使用は4年生以上とし、その長さはトラック・フィールド競技とも7mm以下とする。
 11. スタートについて
 - ① スタート合図は英語で行う。
 - ② セパレート種目のうち、50m及び60mはスタンディングスタートとし、その他はクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートでも良い。
 - ③ 同一競技者が2回の不正スタートをした時、失格とする。ただし、スタート前の不適切な行為があった時は指導する。
 12. 80mHは、スタートから第1ハードルまで12mとし、その後のハードル間は7mとする。
台数は8台で、最終ハードルからフィニッシュまでは19mとする。
 13. 2種目を兼ねて出場している競技者で先行してフィールド種目に出場している競技者は、当該競技の審判員に申し出てトラック種目へ移動し、それが終了したら直ちにフィールド種目の競技場所へ戻ること。
 14. 競技場への出入りは、出場競技者及び競技役員・補助員のみとし、退場時ホームストレートの役員席前を通らないこと。
 15. 練習場所はバックストレートの第8レーン外側とし、指示された場所以外で練習してはならない。
 16. プログラムに訂正がある場合は、規定の用紙に記入し、午前9時までに総務へ提出すること。
- ※ 監督・代表者会議並びに役員打合せ時に、その他の連絡・質問に対応します。
その他不明・不審な点がありましたら、その都度総務へ申し出て下さい。